

中小企業あきた

- 1 秋田県中小企業支援ネットワーク会議が開催 1
- 2 平成26年度 秋田県の施策について 2
- 3 平成26年度 中央会実施事業のご案内 3

- 会員組合探訪 5
- 商店街支援補助金つなぎ資金制度のご案内 5
- 組合相談コーナー 5
- 景況レポート 4 月分 6
- 話題の広場
中央会事業より 7
- アラカルト／新理事長紹介 8
- 支援団体活動レポート 9
- 組合テイルーム 9
- インフォメーション 10

6
JUNE.2014



TOPICS 1 秋田県中小企業支援ネットワーク会議が開催



【挨拶を行う佐竹秋田県知事】

5月15日(木)、秋田県議会棟1階大会議室において、平成26年度第1回秋田県中小企業支援ネットワーク会議(代表者会)が開催され、佐竹敬久秋田県知事や本会の藤澤正義副会長のほか行政機関・商工団体の役員等が出席しました。

このネットワーク会議は平成24年10月に設立され、昨年7月からは「企業連携」「集中支援」「事業承継」の3つのキーワードによるワーキング活動をスタートさせ、商工団体や金融機関等の中小企業支援機関が情報共有と知識の向上を図りながら、連携して中小企業の経営基盤の強化に取り組んでいます。

会議では、佐竹知事が議長となり、はじめに事務局から秋田県中小企業振興条例について、指針策定の趣旨や6つの基本的施策についての説明がなされました。続いて、ネットワーク全体と3つのワーキンググループそれぞれの平成25年度活動報告と平成26年度事業計画の説明があり、事業承継では秋田商工会議所に「秋田県事業引継ぎ支援センター」を設置し、商工団体に設置される相談員とも連携しながら、相談窓口としての機能を強化することが説明された他、昨年度の課題の抽出や反省点を踏まえて、相談機能の強化や各種情報の提供を求める企業のニーズに応じていくことが報告されました。

意見交換に入り、本会藤澤副会長から、3つのキーワードに対する中央会の取り組みについて次のとおり発言しました。

「新しい市場の開拓や生産性の向上、経営コストの削減等による企業の競争力強化を『企業連携』によりコーディネートする事業を本年度実施します。また、『事業承継』については、昨年度の懇談会事業からステップアップし、成功事例などの実践的なセミナーを開催するほか、円滑な承継のため専門家を派遣します。さらに『集中支援』では、昨年度は『ものづくり補助金』の県地域事務局として、補助金交付額8億円超の実績となったが、本年度の『ものづくり・商業・サービス革新事業補助金』では、全業種が対象となっており、引き続きこの事業を有効に活用頂けるよう積極的に支援を進めて参ります。」

最後に、佐竹知事より、「本県を取り巻く環境は厳しいが、地域活性化のため中小企業・小規模事業者の活性化は不可欠であり、地域が一体となって取り組んでいく。」旨の所信が述べられ、会議を終了しました。